

令和元年度運行分系統別利用実態（公表シート）様式2

系統名	秋葉線			事業者名	秋葉バスサービス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	袋井駅前	袋井市民病院	気多		
系統キロ程 (km)		43.5	輸送量 (人/日)	17.8	
平均乗車密度 (人/便)		2.7	運行回数 (回/日)	6.6	
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	春野中学校、気田小学校、天竜高校春野校舎、犬居小学校、三倉小学校、泉陽中学校、天方小学校、森小・中学校、遠江総合高校、飯田小学校、周南中学校、袋井商業高校、袋井北小学校			
	病院	袋井市民病院			
	商業施設	イオン袋井店			
	その他	天竜区春野協働センター、森町役場、袋井市役所、JR袋井駅、天竜浜名湖鉄道戸綿駅			
収支率 (%) (収益/費用)	39.2		乗車人員 (人)	87,146	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停7	名称	拠点：JR袋井駅、遠州森町ターミナル バス停：森川橋、福田地、山梨、下山梨、北町、可睡口、戸綿		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	40.8				
増収策	①JRとの接続改善及び覚えやすい統一感のある時刻設定（平成30年10月ダイヤ改正） ②上記の周知(沿線医療機関、商業施設、学校へ掲示用及び持帰り用時刻表の配付、沿線住宅へ最寄バス停及び路線全体時刻表、乗り案内、路線図をポスティング、回覧板、広報等によるダイヤ改正告知、乗り案内、時刻表入手方法の案内を周知) ③年度初め(4月)のバス乗り方、時刻表等の周知（上記②と基本同じ対応実施） ④時刻表等の案内（常時）（HP及びFaxでの対応実施） ⑤沿線小学校等におけるバスの乗り方教室の開催 ⑥沿線イベント時のバス利用案内（可睡齋5月～7月のゆりの時期にバス利用のアクセス方法等をHPで周知）				
費用削減策	①キロ当り経常費用上昇の抑制 ・少人数の管理体制維持による一般管理上昇の抑制 ・設備投資の抑制（車両及び車載機の長期使用等） ・効率的な勤務指定及び昇給額の抑制等による人件費の抑制 ・静鉄グループのスケールメリットを活かした廉価な軽油購入 ②エコドライブ取組強化期間の設定（1～4月）・暖気運転の抑制、個人目標の設定等				
沿線市町のサポート					
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150                  広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10                  アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30                  乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

令和元年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	秋葉中遠線			事業者名	秋葉バスサービス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	袋井駅前	袋井市民病院	遠州森町		
系統キロ程 (km)	13.0	輸送量 (人/日)	64.0		
平均乗車密度 (人/便)	3.5	運行回数 (回/日)	18.3		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	森小学校、遠江総合高校、飯田小学校、周南中学校、袋井商業高校、袋井北小学校			
	病院	袋井市民病院			
	商業施設	イオン袋井店			
	その他	森町役場、袋井市役所、JR袋井駅、天竜浜名湖鉄道戸綿駅			
収支率 (%) (収益/費用)	75.3		乗車人員 (人)	168,611	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停7	名称	拠点：JR袋井駅、天竜浜名湖鉄道遠州森町駅 バス停：森川橋、福田地、山梨、下山梨、北町、上久能、戸綿		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	16.9				
増収策	①JRとの接続改善及び覚えやすい統一感のある時刻設定（平成30年10月ダイヤ改正） ②上記の周知（沿線医療機関、商業施設、学校へ掲示用及び持帰り用時刻表の配付、沿線住宅へ最寄バス停及び路線全体時刻表、乗り案内、路線図をポスティング、回覧板、広報等によるダイヤ改正告知、乗り案内、時刻表入手方法の案内を周知） ③年度初め（4月）のバス乗り方、時刻表等の周知（上記②と基本同じ対応実施） ④時刻表等の案内（常時）（HP及びFaxでの対応実施） ⑤沿線小学校等におけるバスの乗り方教室の開催 ⑥沿線イベント時のバス利用案内（可睡齋5月～7月のゆりの時期にバス利用のアクセス方法等をHPで周知）				
費用削減策	①キロ当たり経常費用上昇の抑制 ・少人数の管理体制維持による一般管理上昇の抑制 ・設備投資の抑制（車両及び車載機の長期使用等） ・効率的な勤務指定及び昇給額の抑制等による人件費の抑制 ・静鉄グループのスケールメリットを活かした廉価な軽油購入 ②エコドライブ取組強化期間の設定（1～4月）・暖気運転の抑制、個人目標の設定等				
沿線市町のサポート					
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150                  広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10                  アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30                  乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

令和元年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	秋葉中遠線			事業者名	秋葉バスサービス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	大東支所	新横須賀・新岡崎	袋井駅南口		
系統キロ程 (km)	17.7		輸送量 (人/日)	19.3	
平均乗車密度 (人/便)	2.3		運行回数 (回/日)	8.4	
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	浅羽北小学校、浅羽中学校、笠原小学校、横須賀高校、横須賀小学校、大須賀中学校、大淵小学校、大浜中学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	袋井市浅羽支所、掛川市大東支所、JR袋井駅			
収支率 (%) (収益/費用)	48.8		乗車人員 (人)	49,337	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停4	名称	拠点：JR袋井駅 バス停：芝、浅羽支所、横須賀車庫前、大東支所		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	39.0				
増収策	①JRとの接続改善及び覚えやすい統一感のある時刻設定（平成30年10月ダイヤ改正） ②上記の周知(沿線医療機関、商業施設、学校へ掲示用及び持帰り用時刻表の配付、沿線住宅へ最寄バス停及び路線全体時刻表、乗り案内、路線図をポスティング、回覧板、広報等によるダイヤ改正告知、乗り案内、時刻表入手方法の案内を周知) ③年度初め（4月）のバス乗り方、時刻表等の周知（上記②と基本同じ対応実施） ④時刻表等の案内（常時）（HP及びFaxでの対応実施） ⑤沿線小学校等におけるバスの乗り方教室の開催				
費用削減策	①キロ当たり経常費用上昇の抑制 ・少人数の管理体制維持による一般管理上昇の抑制 ・設備投資の抑制（車両及び車載機の長期使用等） ・効率的な勤務指定及び昇給額の抑制等による人件費の抑制 ・静鉄グループのスケールメリットを活かした廉価な軽油購入 ②エコドライブ取組強化期間の設定（1～4月）・暖気運転の抑制、個人目標の設定等				
沿線市町のサポート					
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150                  広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10                  アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30                  乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

令和元年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	秋葉中遠線			事業者名	秋葉バスサービス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	横須賀車庫	新岡崎	袋井駅南口		
系統キロ程 (km)	11.7	輸送量 (人/日)	62.7		
平均乗車密度 (人/便)	3.2	運行回数 (回/日)	19.6		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	浅羽北小学校、浅羽中学校、笠原小学校、横須賀高校、横須賀小学校、大須賀中学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	袋井市浅羽支所、JR袋井駅			
収支率 (%) (収益/費用)	74.3		乗車人員 (人)	110,962	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停3	名称	拠点：JR袋井駅、 バス停：芝、浅羽支所、横須賀車庫前		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	51.9				
増収策	①JRとの接続改善及び覚えやすい統一感のある時刻設定（平成30年10月ダイヤ改正） ②上記の周知(沿線医療機関、商業施設、学校へ掲示用及び持帰り用時刻表の配付、 沿線住宅へ最寄バス停及び路線全体時刻表、乗り案内、路線図をポスティング、回覧板、広報等によるダイヤ改正告知、 乗り案内、時刻表入手方法の案内を周知) ③年度初め（4月）のバス乗り方、時刻表等の周知（上記②と基本同じ対応実施） ④時刻表等の案内（常時）（HP及びFaxでの対応実施） ⑤沿線小学校等におけるバスの乗り方教室の開催				
費用削減策	①キロ当たり経常費用上昇の抑制 ・少人数の管理体制維持による一般管理上昇の抑制 ・設備投資の抑制（車両及び車載機の長期使用等） ・効率的な勤務指定及び昇給額の抑制等による人件費の抑制 ・静鉄グループのスケールメリットを活かした廉価な軽油購入 ②エコドライブ取組強化期間の設定（1～4月） ・暖気運転の抑制、個人目標の設定等				
沿線市町の サポート					
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150                  広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10                  アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30                  乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

